

SSI 学会誌編集委員会 2013 年度第 1 回委員会 議事録

日時：2013 年 9 月 15 日 16：15～18：00

場所：早稲田大学 16 号館 709 室

出席者(敬称略)

橋元良明[委員長](東京大学)、遠藤薫[副委員長](学習院大学)、北村順生[副委員長](新潟大学)、櫻井成一郎[副委員長、英文誌主任](明治学院大学)、(以下 50 音順)伊藤賢一(群馬大学)、今田寛典(広島文化学園大学)、岩井淳(群馬大学)、大國充彦(札幌学院大学)、五藤寿樹(日本橋学館大学)、是永 論(立教大学)、服部哲[ネットワーク担当](神奈川工科大学)、吉田純(京都大学)、吉田寛(静岡大学)

欠席者

岡田安功(静岡大学)、岡田勇(創価大学)、河又貴洋(長崎県立大学)、金相美(名古屋大学)、黒須俊夫(国士舘大学)、小郷直言(大阪大学)、後藤玲子(茨城大学)、田中秀幸(東京大学)、野田哲夫(島根大学)、山本佳世子(電気通信大学)

(文責：橋元)

【報告事項】

1. 和文誌学会誌刊行状況の報告がなされた。

第 1 巻 3 号(編集長：伊藤賢一・岩井淳各委員)、第 2 巻 1 号(編集長：服部・吉田寛各委員)刊行済み

2. 第 2 巻第 2 号編集長の決定(大國・吉田純各委員)が報告された。

3. 櫻井委員、是永両委員から英文誌 (Vol. 6, No. 1)の編集刊行状況の報告があった。

4. ネットワーク担当委員決定(服部委員)の報告があった。

5. 岩井淳委員から、学会誌掲載論文を加筆修正し、刊行予定書籍の一部として掲載する旨の報告があり了承された(転載ではなく、加筆修正後の掲載であるため、報告事項とした)。

元論文：社会的選択理論の情報学的展開、『社会情報学』, Vol. 1, No. 1, pp73-79

刊行出版予定書籍：『シナジー社会の到来』(東京大学出版会, 2014 年 3 月頃の刊行予定)

【審議事項】

1. 表彰委員会からの依頼（優秀論文賞ないし論文奨励賞への推薦）について

表彰委員会委員長より、「審査担当委員が担当する論文につき、優秀論文賞ないし論文奨励賞への推薦の適否について評価し、評価結果を表彰委員会に報告する」ことの依頼があった。

議論の結果、(1)評価は査読者が行なう、(2)評価について各号編集者がまとめ、学会誌委員長と表彰委員長に連絡する、(3)今後、論文投稿にあたり、論文奨励賞の資格[掲載時40才未満または大学院在学→投稿時点において「掲載時」は不明なので、投稿時の情報]の有無も併記するシステムにする（→投稿要領に反映する）、(4)連名の場合の「奨励賞」資格の当否(ファーストオーサーだけに適用するか、連名者についても適用するか等)については表彰委員会の議論に任せる、(5)表彰委員会への評価の連絡は2014年度第3巻から施行、とのことが確認された。

2. 英文誌の電子化

学会運営経費の削減、流通の積極化・保存の簡易化、学会誌に関する世界的潮流等を鑑み、英文誌2014年度刊行のVol.7から電子化を実施することで合意した。その際、電子化の作業は一部、印刷会社に委託する。また、早々に英文誌投稿要領に反映し、電子化移行について告知することとした。

3. 投稿論文連名著者の会員資格について

2014年投稿分(時期については継続審議)より連名著者についても社会情報学会の会員であることを投稿の条件とすることとした（→早々に投稿要領に告知・反映）。

4. 英文誌英文チェックの件

櫻井・是永両委員より、英文誌Vol.6掲載予定のシンポジウム記録について報告があった。日本語からの英文翻訳は、今回、各登壇者をお願いしたが、その中の一部については、諸事情から新たに英訳を外部に委託し、また全体について、ネイティブのチェックを依頼することになった（見積もり等については櫻井委員が担当）。

5. 第2巻第3号、第3巻第1号編集長候補者について

第2巻第3号(2014年3月刊行予定)の編集長候補が決定した。

第3巻以降については今後、候補者を継続的に検討する。

6. 第2巻第3号以降の企画について

第2巻第2号には2013年6月シンポジウムの記録、第2巻第3号には2013年9月大会シンポジウムの記録を掲載することとした。

7. 学会誌編集刊行業務・業務分担の確認

北村委員が学会誌編集刊行業務・業務分担について新たに整理したメモを作成し、説明した。

8. 査読進行状況の開示・サイトへのアップ

櫻井委員から提案があり、論文投稿番号、審査担当委員名、査読の進行状況（査読中あるいは査読終了）等の情報を学会 HP にアップすることにした。

9. 投稿審査に関する情報の保管・伝達について

「投稿受付台帳」の保管等、投稿・審査に関する情報の保管・（編集長間の）伝達については、第1巻第3号編集長（伊藤賢・岩井各委員）、第2巻第1号編集長（吉田寛・服部各委員）によるワーキンググループを組織し、第2巻第2号編集長（吉田純・大國各委員）の意見も合わせ、次回委員会に業務の新規運営形態を提案することになった。

10. 学会誌投稿に向けたスクリーニングセッションの開催

服部委員より、学会誌投稿に向けて、アドバイスを与える「スクリーニングセッション」を大会中に開催してはどうかという提案があり、次回委員会にて服部委員が案をまとめることになった。

11. その他

(1) インパクトファクター

学術雑誌の影響力の指標である「インパクトファクター」について、今後、情報収集することとなった。

(2) 次回予定

次回の編集委員会の開催予定は下記の通りである。

日時：2013年12月14日（土） 11時～13時（表彰委員会、理事会の前。

必要な人は各自昼食持参）

場所：中央大学駿河台記念館（理事会開催の会議室）